学校番号	211

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	創造演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○　自分の興味・関心に応じ、絵画・立体・インスタレーション・絵本などの創造的な諸活動をおこないます。
○　創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、個性的な感覚を伸ばします。
また、観察・発見・気づきを大切にして表現に生かし、表現の形式・形体・色彩・素材等の特性や技術を学び、自分なりの視点や表現を深めます。
○　完成作品のプレゼンテーションや相互鑑賞をおこないます。またコンクール等への出品もおこない、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を伸ばします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
造形的な知識や理解を深め、絵画・立体・現代アートにおける自己の表現と意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
絵画・立体・現代アートにおける自己の作品の主題を生成し、造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想する。美術文化に対する見方や感じ方を深め、他者の作品を認め相互理解を図ることにより、客観的視点を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化 に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形・色彩・材料などの性質や造形的特徴をとらえて主題に沿った創造的な表現が行えているか、材料や用具の特性を生かして工夫した表現ができているかを評価します。	造形的な見方・考え方・感性・想像力を働かせているか。課題や目的・機能・美しさを理解し、主題を生成し、創造的な表現できているか。また、他者の作品や美術文化の良さを理解し、自身の作品の客観的視点が養われているかを評価します。	主体的に創造的活動に取り組めているか、新たな気づきや視点を大切にし、表現の喜びをあじわっているかを評価します。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	絵画・立体等制作①	【絵画・立体等】【鑑賞】 ・３０号以上の絵画（油彩・アクリル・日本画）、立体、インスタレーション等の自由制作。 １、主題の設定：自分の興味関心に応じたアイデアや主題を考える。 ２、構想を練る：アイデアや主題に応じた分野・表現形態・素材などを造形的な視点を大切にして構想を練る。 ３、制作：材料や用具の特性を生かし、表現する。 ４、鑑賞：お互いの完成作品による振り返りと相互鑑賞およびプレゼンテーション ・完成した作品は、校外のコンクールへ出品。	a：（知識）分野における形・色彩・素材の性質や造形的特徴をとらえて、主題に沿った創造的な表現が行えているか。（技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かして工夫した表現ができているか。 b：（発想・表現）造形的な見方・考え方を働かせ、課題・美しさを理解し、創造的な表現できているか。 （鑑賞）他者の作品の良さを理解し、表現の理解を深めたか。 c：アイデアスケッチなどで構想を練り創造的な表現ができたか、見通しを持って主体的に取り組めたか。	制作途中の作品 提出作品	ワークシート アイデアスケッチ 取り組み状況 制作途中の作品 提出作品 振り返りシート 相互鑑賞シート	ワークシート アイデアスケッチ 取り組み状況 提出作品 振り返りシート 相互鑑賞シート
夏休み	鑑賞レポート・自由制作	【夏休みの課題】【鑑賞】 ①高校展鑑賞レポート ②自由制作	a：（知識）形・色彩の性質や造形的特徴をとらえて主題に沿った創造的な表現が行えているか、（技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かして工夫した表現ができているか。 b：（発想・表現）造形的な見方・考え方を働かせ、課題・美しさを理解し、創造的な表現できているか。 （鑑賞）：美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考え方などを持ち、理解できたか。 c：主体的に多様な表現に関心を持ち、自分の興味関心がある分野の作品に意欲的に取り組めたか。	提出作品 鑑賞レポート、プレゼンシート	提出作品 鑑賞レポート、プレゼンシート	提出作品 鑑賞レポート、プレゼンシート

2学期	絵画・立体等制作②	【絵画・立体等】【鑑賞】 ・１学期の制作体験を踏まえ、３０号以上の絵画（油彩・アクリル・日本画）、立体、インスタレーション等の自由制作。 １、主題の設定：自分の興味関心に応じたアイデアや主題を考える。 ２、構想を練る：アイデアや主題に応じた分野・表現形態・素材などを造形的な視点を大切にして構想を練る。 ３、制作：材料や用具の特性を生かし、表現する。 ４、鑑賞：お互いの完成作品による振り返りと相互鑑賞およびプレゼンテーション ・完成した作品は、校外のコンクールへ出品。	a：（知識）分野における形・色彩・素材の性質や造形的特徴をとらえて、主題に沿った創造的な表現が行えているか。（技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かして工夫した表現ができているか。 b：（発想・表現）造形的な見方・考え方を働かせ、課題・美しさを理解し、創造的な表現できているか。（鑑賞）他者の作品の良さを理解し、表現の理解を深めたか。 c：アイデアスケッチなどで構想を練り創造的な表現ができたか、見通しを持って主体的に取り組めたか。	製作途中の作品 提出作品	ワークシート アイデアスケッチ 取り組み状況 製作途中の作品 提出作品 振り返りシート 相互鑑賞シート	ワークシート アイデアスケッチ 取り組み状況 提出作品 振り返りシート 相互鑑賞シート
３学期	絵画・立体等制作③　小型作品	【絵画・デザイン】【鑑賞】 ・１・２学期の制作体験を踏まえ、少ない授業で制作可能な小型の作品（絵画・立体・インスタレーション等）の自由制作。 １、主題の設定：自分の興味関心に応じたアイデアや主題を考える。 ２、構想を練る：アイデアや主題に応じた分野・表現形態・素材などを造形的な視点を大切にして構想を練る。 ３、制作：材料や用具の特性を生かし、表現する。 ４、鑑賞：お互いの完成作品による振り返りと相互鑑賞およびプレゼンテーション	a：（知識）分野における形・色彩・素材の性質や造形的特徴をとらえて、主題に沿った創造的な表現が行えているか。（技能）意図に応じて材料や用具の特性を生かして工夫した表現ができているか。 b：（発想・表現）造形的な見方・考え方を働かせ、課題・美しさを理解し、創造的な表現できているか。（鑑賞）他者の作品の良さを理解し、表現の理解を深めたか。 c：アイデアスケッチなどで構想を練り創造的な表現ができたか、見通しを持って主体的に取り組めたか。	ワークシート アイデアスケッチ 製作途中の作品 提出作品	ワークシート アイデアスケッチ 取り組み状況 製作途中の作品 提出作品 振り返りシート 相互鑑賞シート	ワークシート アイデアスケッチ 取り組み状況 提出作品 振り返りシート 相互鑑賞シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度